

下記期間に当人間ドックを受診された方へ

対象：2020 年 4 月～2022 年 3 月

2023 年 4 月～2025 年 3 月

「人間ドックにおける随時尿推定食塩摂取量と自己記入式簡易食事調査票を用いた減塩指導の有用性」研究への参加のお願い

当センターは人間ドックを受診された方々の検査結果、内服薬等の問診内容、アンケートデータを用い、下記の研究を行います。研究についてのお問い合わせがある場合、または情報を利用することをご了解いただけない場合には、下記の「お問い合わせ先」へご連絡下さい。不参加を希望される方には、解析対象から情報を削除いたします。研究への不参加が、今後の診療等に影響を及ぼすことはありません。

1. 研究課題

「人間ドックにおける随時尿推定食塩摂取量と自己記入式簡易食事調査票を用いた減塩指導の有用性」

（研究期間：倫理審査承認後～2027 年 3 月 31 日）

この研究は、杏林大学医学部倫理委員会の審査を経て医学部長より承認を得て実施します。

2. 研究目的と方法

食塩の過剰摂取は高血圧、動脈硬化の進行を引き起こすことが分かっています。動脈硬化に由来する脳卒中や狭心症、心筋梗塞の発症を予防するため、健康な方も含め、減塩が重要ですが、日本人の食塩摂取量は現在でも基準を大きく上回っています。

本研究では、現在当人間ドックで行っている尿検査を用いた推定 1 日食塩摂取量のチェックと、食生活についての問診票（「塩分チェックシート」）の 2 点を用いた栄養相談や医師面談で、どの程度減塩や血圧改善の効果があるか調査します。

本研究で使用する情報は、性別、年齢、薬の内服状況、「塩分チェックシート」等のアンケート内容、身長、体重、血圧、腎機能、推定 1 日食塩摂取量等の人間ドックでの検査データとなります。新たな検査の実施、検体採取、費用の負担が生じることはありません。

3. 個人情報の取扱い（プライバシーの保護）

利用する情報からは、お名前、住所などあなた個人を特定できる情報は削除し、仮名加工します。個人情報と仮名加工した情報を結びつける対応表は情報管理責任者が当院のみ

で厳重に管理し、研究実施部門ではどなたのものか一切分からない形で使用いたします。

この研究の結果は論文や学会で報告しますが、研究成果が公表される場合場合でも、あなたの身元を明らかにすることはありません。また、この研究で得られたデータが、本研究の目的以外に使用されることはありません。

4. 研究期間：杏林大学医学部倫理委員会承認後～2027 年 3 月 31 日

5. 研究実施部門：杏林大学医学部予防医学教室・予防医学センター

6. 本研究に関する問い合わせ先

研究責任者：杏林大学医学部予防医学教室・予防医学センター 三好佐和子

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

TEL 0422-47-5511（代表）

研究分担者：杏林大学医学部 予防医学 徳永 健吾

研究分担者：杏林大学医学部 予防医学 木村 容子

研究分担者：杏林大学付属病院 栄養部 塚田 芳枝

情報管理責任者：杏林大学医学部 予防医学 西田 三奈子

第 1 版（作成日：2024 年 6 月 13 日）

第 1.1 版（作成日：2025 年 4 月 30 日）